

令和2年度 長崎大学大学院工学研究科 総合工学専攻

機械工学コース 一般入試（夏季募集） 入学試験問題

流体力学

下記1, 2の問題において、水の密度を ρ 、重力加速度を g とする。

1. 空気で満たされた球形の風船が、水面では半径 r である。この時の風船内部は大気圧であった。風船に質量 m の重りをつけて深さ h まで静かに沈め、手を離した。以下の問い合わせよ。ただし、風船の質量、重りの体積は無視できるものとし、風船の大きさは、深さに比べ無視できるほど小さいものとする。また、風船の中の空気は理想気体で、等温変化とし、風船のゴムの張力は無視できる。大気圧は P_0 とする。
 - (1) 深さ h で風船に働く浮力の式を示せ。
 - (2) 風船が浮上するかそれとも沈降するか、深さ h との関係について考察せよ。
2. 上部が開いた大きなタンクの側壁に、水平方向へ長さ l 、直径 d の管路が接続され、管路の他方は大気に接している。タンクには水が入っており、管路から水面までの高さを h とし、管路からの水の流出にともなう水面高さの変化はないものとする。以下の問い合わせよ。ただし、損失は管摩擦以外ないものとする。
 - (1) 管摩擦がない場合、管路出口での流速の式を示せ。
 - (2) 管摩擦があり、摩擦係数が λ である場合、管路出口での流速の式を示せ。
 - (3) 管路出口から少し離して、大きな板を流れに直角に置く。管路から流出する流れが板に及ぼす力は、上記(1)と(2)の場合、どちらが大きいか。考察せよ。